

第十六番 良忠寺（如意輪觀世音菩薩）

*宗 派 淨土宗

*御本尊 阿弥陀如来

*開 山 良忠上人（仁治元年（一二四〇）春

（中興）第四十一世讚誉上人

*現住職 第六十二世 森本有史

*〒二三〇—〇〇〇一 横浜市鶴見区矢向四—二十一—三十六

*☎〇四五—五八一—五四一四

*南武線「尻手」駅下車 ガード越し二つ目信号右折、突き当たりの寺

淨土宗第三祖記主禪師然阿良忠上人開祖にして、創立年は仁治元年春と云う。当寺の寺号、山号、院号はともに上人の諱をいただいたものである。寺宝として本尊阿弥陀如来像、如意輪觀世音菩薩像、開山記主禪師像、身代わり地藏像、矢止め地藏像、開山御自作弁財天、毘沙門天像、それに祐天上人御被着の伝依などがある。当寺の觀音様は如意輪觀世音菩薩で人生諸々の「苦」を抜き、世間出世間の利益を与える菩薩であり、別名「救世菩薩」、または「救世觀音」とも云う。又当山の觀音様は、村内の薔薇の繁みの下より出現したことに依り、薔薇觀音とも云う。

（ご）詠 歌

あなとうと

みちびきたまえ

かんぜおん

むつのちまたに

まようみなれば



（第16番 良忠寺）